

『青少年アンビシャス運動支援の会』では、運動に参加する団体に対し、青少年育成に繋がる顕著な活動への財政的な支援を行っています。平成30年度までに財政的支援を行った件数は410件を数え、21世紀の福岡県を担う青少年の育成に大きく寄与しています。

平成30年度は、前期・後期の助成事業として、19事業（前期：10事業、後期：9事業）へ助成しました。

(1) 前期助成分（10事業）

【長期継続活動支援（4事業）】

No.1

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
1	福津市子ども読書 連絡協議会 (福津市)	<p align="center">絵本や本の楽しさを子どもたちに2018</p> <p>福津市の子どもたちが、本と出会い、読書活動を通じて豊かな人間性を育むとともに、読解力の底上げを目指した活動で、採択から2年目を迎えた。</p> <p>30年度は、幼児から大学生までの約100名が参加し、市立図書館で自然科学系（植物や昆虫等）の絵本作家の講演会を行うとともに、中学生がお薦めの本を紹介し、情報交換する「ビブリオトーク」も開催し、本への関心を高めることができた。</p> <p>また、津屋崎中学校と連携し、読書ボランティアが、約360名の中学生を対象に、読み聞かせやブックトークを行い、耳から聞く読書の楽しさを体験することで、読書活動への意欲を喚起した。</p>
2	子供囲碁教室交流 実行委員会 (久留米市)	<p align="center">子供囲碁教室合同交流会</p> <p>29年4月に県内12の子供囲碁教室が参画し、囲碁を通して社会貢献できる青少年の育成を目的に組織を立ち上げ、30年度から活動を始めた。</p> <p>県内12の子供囲碁教室の子どもを対象に、久留米市や小郡市などで囲碁交流大会等を実施するとともに、年間を通して福岡市内の小学校2校で囲碁授業を開催、囲碁のルールから実践対局までを学んだ。</p> <p>子どもたちは、棋力の向上のみならず、礼儀作法を身に付け、また、対局することで切磋琢磨しお互いを高め合い、成長を遂げている。</p>





絵本作家を招へいた講演会



小学校での囲碁授業

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
3	<p>篠栗森づくりの会 (糟屋郡篠栗町)</p>  <p>収穫祭での植樹活動</p>	<p>「森であそぼう」教室</p> <p>子どもたちが主体的に、植林から育成、収穫等に挑戦し、自然の力や大切さを学び、環境保全の心と実践力を培うための活動で、採択から2年目を迎えた。</p> <p>30年度も幼児から小学生までの子どもたちが、年間を通して、四季折々の里山で川遊びや昆虫採集、柿ちぎり、植樹活動、野外調理等様々な自然体験活動を行った。</p> <p>子どもたちには、主体性・積極性や自信・自己肯定感が育ち、自然の中で感性を磨き、遊びの創造力を膨らませている。</p> <p>また、中学生のボランティアや、保護者を含めたサポート体制も充実してきており、地域ぐるみの活動へと発展しつつある。</p>
4	<p>一般社団法人 九州国技振興会 (福岡市西区)</p>  <p>保育園児の相撲大会</p>	<p>子供向けDVD、手引書による相撲競技の普及</p> <p>相撲大会や相撲指導を通して、国技である相撲の伝統文化を普及するとともに、たくましく、礼儀正しく、優しさを備えた子どもたちを育成するため、活動を行っている。</p> <p>30年度は、相撲の基本動作や魅力を分かりやすくまとめた初心者向けの指導用DVD、手引書を制作し、指導者はもちろん、子どもたちにも見てもらうことで、必要な技術を理解することができた。</p> <p>子どもたちが相撲に取り組むことで、相撲への理解が進み、また、実際に体験することで、勇気、忍耐や瞬発力等を養うことにつながっている。</p>

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
①	<p>芦屋小学校 (フラワーアンビシャス部)</p> <p>(遠賀郡芦屋町)</p>  <p>花いっぱいキャンペーン</p>	<p>花いっぱい！笑顔いっぱい！アンビシャスな芦屋小</p> <p>芦屋小学校の児童たちに、美しく明るい学校環境を作るための自然体験活動を行わせることにより、生命や自然を慈しむ心や感動する心を育むことを目指した。</p> <p>学校サポーターや校区育成会等地域の方の指導や協力を得ながら、児童が自主的に校庭の花壇や温室の花植え、除草など美化活動に取り組んだ。</p> <p>保護者をはじめ、学校サポーターや校区育成会による協力も得ることができ、校区内全体への波及効果も現れている。</p>
②	<p>山の上のフリースクールSaita</p> <p>(糸島市)</p>  <p>竹林から竹の切り出し</p>	<p>自然の中で 話そう！ 食べよう！ 感じよう！</p> <p>自然豊かなキャンプ施設において、フリースクールに通う子どもたちと、学校に通える子どもたちとの交流イベントを通して、双方の子どもたちが自然なコミュニケーションを取れるようになることを目指した。</p> <p>年間を通して、放課後の時間帯や休日に10回程度、山ハイキング、みかん狩り、飯盒炊飯等の自然体験をはじめ、折り紙、学習指導等、子どもたちの意見も取り入れながら、様々な体験活動を行った。</p> <p>子どもたちは、これらの活動により、協力し合うことや作り上げる喜びを感じ、緊張せずにコミュニケーションをとることができるようになった。</p>
③	<p>はやめカップパ祭り 実行委員会</p> <p>(大牟田市)</p>  <p>コースターのモザイクアート</p>	<p>第20回はやめカップパ祭り「ジャー坊に夢をのせて」</p> <p>諏訪川流域の2つの小学校区の住民が、校区間、世代間の交流を通して楽しく触れ合いながら、青少年健全育成、住民の連帯意識の醸成を目指した。</p> <p>6月に大牟田市の公式キャラクターである「ジャー坊」を題材として、1万6百枚のドリンクコースターを貼り合わせた「モザイクアート面積世界一」のギネス記録に、子供から大人までが力を合わせて挑戦し、見事達成した。</p> <p>また、モザイクアートを構成するドリンクコースターへ、子どもたちがメッセージや絵の書き込みも行い、達成感を味わうとともに、連帯感を高めることができた。</p>

No.	団体名 (所在地)	活動名及び内容
④	<p>NPO法人 ハッピーライド (福岡市博多区)</p>  <p>アイマスクを付けて謎解き</p>	<p>アクティブラーニングを使った遊びの中の学び 「ハッピーライド海賊団の宝探し」</p> <p>早期段階で子どもたちの交流活動が、発達に最も大切であるとの認識のもと、人と関わる楽しさを子どもたちに伝え、子どもたちの社会性の向上を目指した。</p> <p>福岡市東区八田校区の子どもたちが、異年齢のチームを編成し、協力してなぞなぞ等を解きながらゴールを目指すイベント「謎解き宝探し」を開催、その中で視覚障がいに関する疑似体験も行った。</p> <p>子どもたちは、リーダーシップやメンバーシップを意識して、チームで協力し合うことの大切さや、コミュニケーションの重要性を認識することができた。</p>
⑤	<p>子ども花だんプロ ジェクト (大牟田市)</p>  <p>子どもたちで花壇づくり</p>	<p>子ども花だんプロジェクト</p> <p>子どもたちが一年を通して花壇の世話をすることにより、植物への興味や色彩感覚、責任感が育つことを目指した。</p> <p>子どもたち自身で花壇のデザインを考え、提案するとともに、花の植え替えや水やり等の世話をを行うなど、地域の人たちと協力して花壇の維持・管理を行った。</p> <p>子どもたちには、花壇づくりの作業を通じて一体感が醸成され、責任感はもちろん、自主性、積極性も育っている。</p> <p>また、環境美化への関心が高まり、整備箇所も広がってきている。</p>
⑥	<p>公益社団法人 山門青年会議所 (みやま市)</p>  <p>ゆるキャラ「くすべえ」</p>	<p>青少年事業（ルーツ・オブ・チルドレンvol.5）</p> <p>地域の魅力・歴史・文化を子どもたちに学ばせることにより、この地域の様々な特色を次なる世代へ伝えていける、郷土愛を持った青少年を育成することを目指した。</p> <p>みやま市と旧山門・三池郡の子どもたちは、9月22日から1泊2日の日程で、長田鉱泉場見学、ゆるキャラ「くすべえ」の目玉設営体験、むっかけ体験、トレッキング等の活動を行った。</p> <p>子どもたちは、自分たちの地域の魅力を再認識し、感情豊かな地域リーダーの育成に寄与することができた。</p>




(2) 後期助成決定分（9事業）


【長期継続活動支援事業（5事業）】

No.1

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
1	<p>田川de寺子屋 プロジェクト (田川郡川崎町)</p>  <p>そば粉をこねてそば打ちの準備</p>	<p>むすんでひらいて そば打って</p> <p>子どもたちが遊休地にそばの種をまき、収穫からそば打ちまでを体験させ、食物の大切さを実感させる事業を28年度から始め、3年目を迎えた。</p> <p>30年度は、総仕上げと位置づけた「そばフェスタ2018」も加えて開催し、まいた種が花を咲かせ、満開となった様子をスケッチし、そばの試食も行った。</p> <p>年末には収穫したそばの実を使ってそば打ちに挑戦。種から育てたそばが食物となるまでを体験し、食物のありがたさや命の大切さを学んだ。</p>
2	<p>NPO法人 川塾北九州 (北九州市小倉南区)</p>  <p>カヌーの乗船体験</p>	<p>紫川だれでもカヌー</p> <p>「川に学ぶ」という理念のもと、障がいを持つ子どもたちを中心に、自然体験活動を通じて自然の素晴らしさと大切さを伝える事業を行い、29年度から採択された。</p> <p>30年度はカヌー乗船体験や水中生物の観察など、川を安全に楽しめる事業を実施し、障がいを持つ子どもが健常児や大人と交わって活動した。</p> <p>障がいを持つ子どもたちは、自然体験活動を通じて、困難を乗り越え、自立するために必要な生きる力と感じる力を、育むことができた。</p>
3	<p>特定非営利活動法人 なかがわ自然楽会 (那珂川市)</p>  <p>雨の中での稲刈り</p>	<p>遊休田畑を活用した青少年の農業活動並びに食育活動支援</p> <p>東日本大震災を契機に、素人で米づくりを始めて支援活動を継続してきたが、28年度から子どもたちに農業の面白さや大切さを伝え、食育の観点まで幅を広げた活動を始めた。</p> <p>30年度は、子どもたちに田植えから稲刈りまでの米づくり、野菜づくりの一貫した農作業を体験させ、収穫物を自分たちで調理して味わうとともに、子供食堂等にも提供した。</p> <p>また、一部の田んぼでは、子どもたち自身に米づくりを担当させ、自主性や責任感を学ぶことで、米の収穫につなげた。</p>

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
4	<p>特定非営利活動法人 福間津屋崎子ども劇場</p> <p>(福津市)</p>  <p>日韓交流会での成果発表</p>	<p>和太鼓・しの笛体験事業 ～まつりで生き生きと発表しよう～</p> <p>30年度に初めて採択され、日本の伝統楽器である和太鼓の体験事業を通して、豊かな表現力を育み、異年齢の仲間の中でコミュニケーション力を培うことを目指した。</p> <p>子どもたちは協力して練習していく中で、自発性や協調性が生まれ、また、仲間との繋がりが深まり、コミュニケーション力も培われている。</p> <p>地域のまつりやイベントで発表の場も設け、子どもたちは目標に向けて最後まで努力することを学び、達成感も得られた。</p>
5	<p>環境ネットワーク 「虹」</p> <p>(福津市)</p>  <p>里山での自然観察</p>	<p>地域の里田・里山の生物多様性保全プロジェクト2018</p> <p>福津市の里田・里山において、農業体験や自然観察・生物調査を行い、その結果をグループワークで話し合い、生物多様性の保全意識を醸成する活動で、30年度に採択された。</p> <p>里田では、稲刈りや脱穀などの米づくり体験や収穫米の調理体験、田んぼの生物調査を行い、また、里山では、福津市に生息する絶滅危惧Ⅱ類のニホンアカガエルやカスミサンショウウオ等の生物調査を行った。</p> <p>子どもたちは、生物と水辺や森との繋がり、自分との繋がりを知り、また、里田でも生物多様性を知るとともに、その保全への意識を高めることができた。</p>

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
①	<p>特定非営利活動法人 私善 (しぜん)</p> <p>(太宰府市)</p>  <p>稲刈り体験で米を収穫</p>	<p>自然の中で育てられた農産物の収穫体験</p> <p>無農薬無化学肥料栽培の農産物の普及のため、生産者と消費者に農産物の理解を深めてもらう活動を行っており、30年度に初めて採択された。</p> <p>生産者の協力を得て、子どもたちが虫や雑草のある自然環境の中で栽培された農産物の収穫体験を行い、その収穫物を食べることで視覚、聴覚、触覚などの五感で自然の食物を感じる事ができた。</p> <p>米や野菜を直に収穫することで、収穫の喜びや食の大切さ、自然の大切さを感じ、農業・自然・食に自ら寄り添う機会となった。</p>
②	<p>中村学園大学短期大学部 合同和太鼓部 輝来響楽座 (きらきらざ)</p> <p>(福岡市城南区)</p>  <p>演奏会に向けた練習風景</p>	<p>輝来っ鼓（きらっこ）</p> <p>大学の和太鼓部のボランティア活動の一環として、軽度な知的障がいを持つ子どもたちを対象に、和太鼓を通して心の育成に繋げる活動として、30年度に採択された。</p> <p>子どもたちが太鼓の音に触れ合うことで、積極的にリズムを考えるなど、楽しみながら取り組む姿が見受けられ、また、他の子どもや指導者（学生）と関わりながら、コミュニケーションを取り、協力することができた。</p> <p>指導者、補助者も学生で、障がいを持つ子どもたちとの関わり方や、指導方法についての仲間との協議など、自らも視野を広げることができた。</p>
③	<p>NPO法人 好きっちゃ北九州</p> <p>(北九州市小倉南区)</p>  <p>中学校での防災教室</p>	<p>アクティビティ防災プログラムの実践と体験</p> <p>小・中学生を対象に、自然災害への認識や防災対策への意識を醸成するため、座学ではなく体を動かすアクティブな防災プログラムを使って学ばせる活動として、30年度に採択された。</p> <p>この防災プログラムの開発と検証を繰り返し、大学教員の協力のもと、体系的な教本として編集を行うとともに、この防災プログラムを使って活動する、多くの青年リーダーを養成することもできた。</p> <p>また、大型ショッピングモールでの防災イベントを通して、子どもたちへの防災プログラムの効果を検証することができ、青年リーダーも活用しながら、子どもたちの防災啓発の拡大につながった。</p>

No.	団体名 (所在地)	活動名及び活動内容
④	<p>総合型地域スポーツクラブ スポーツBRANDEX 福岡</p> <p>(那珂川市)</p>  <p>競技会でのスタート風景</p>	<p>身体バランスを未就学児から小学生まで育てる、 ストライダープロジェクト</p> <p>子どもたちの外遊びが減少し、事故やけがが増えているが、バランス感覚を身に付けさせることで回避できるとの考えから、自転車を使った取組みを行っている。</p> <p>30年度は、新たな取組みとして、ペダルなしの二輪車である「ストライダー」を使い、乗車技術の習得教室から競技会の開催まで実施し、子どもたちの体力向上、バランス感覚の養成、仲間との協調性を育成することができた。</p> <p>子どもたちは、日頃の生活でも積極的に物事に取り組み、行動力がつくとともに、自分の意見をしっかり伝える力も高まるという効果が現れている。</p>